

(5) 《ああモンテルパの夜は更けて》

歌【渡辺はま子/宇都美清】 昭和27年

日本は昭和26年サンフランシスコ講和条約を交戦国48カ国と単独講和を結んで独立国家になった。だが東南アジアには、まだ多くの“戦犯”のレッテルを貼られた元日本兵が、獄舎につながれていた。特にフィリピンのモンテルパには、死刑囚59人を含む109人が理不尽な戦犯容疑で逮捕され、敵国だった民衆の怨念による冤罪(えんざい)の境遇下にあった。明日の生命さえも知れない戦犯の心の支えは、日本から派遣された教誨師(きょうかいし)加賀尾秀忍(しゅうにん)の説法であった。加賀尾は講和条約が結ばれても、なお戦犯として捕らわれている彼らの事を日本人に知って貰い、釈放を早めるために“歌は世につれ、世は歌につれ”の俚諺(りげん)に従って、世を歌につれさせる秘策だった。宝くじに当たる程度の可能性の薄い手段だったが、加賀尾は先ず獄中の死刑囚、代田銀太郎に望郷の詞を作るよう勧めた。詞など作ったことのない代田は、故郷の妻子、老いた父母、刑死した戦友などの事を思い浮かべて最初に作ったのは次のような詞だった。

モンテルパに日が暮れる

ヤシの葉末にちぎれ雲

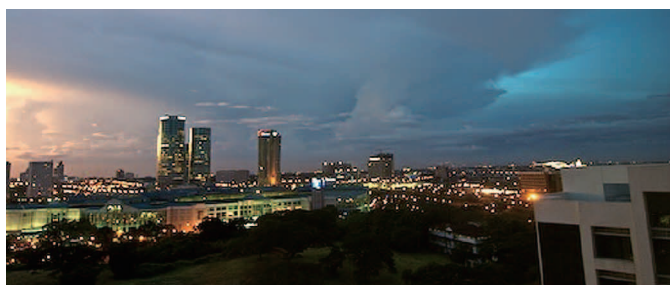
はなればなれて

何時(いつ)あへる

愛(いと)しきものの名を呼べば

涙に浮かぶ面影よ

代田の詞に、独学でオルガンを弾いていた最古参の死刑囚伊藤正康が一晩でメロディーを付けてくれた。こうして誕生した「ああモンテルパの夜は更けて」は、加賀尾の手によって、渡辺はま子に送られた。彼女は日中戦争の当初から敗戦の日まで、5回も戦地慰問に献身している気骨ある歌手だった。そして歌はレコード化され、有志の手でオルゴールになってフィリピンのキリノ大統領に贈られた。大統領は過去に日本兵に最愛の妻と3人の子供が殺され、自らも逮捕されて憲兵の拷問を受けた過去があった。だがオルゴールから流れる哀(かな)しいメロディーと、贈呈に赴いた加賀尾教誨師から歌が出来るまでの経緯を聞いて、109人の日本人戦犯の減刑を決意する。一転モンテルパの戦犯達は、夢に見た故国へ生還が出来たのだった。



現在のフィリピン・モンティルパ(市)夜景/ウィキペディアより

(6) 《岸壁の母》 歌【菊地章子】 昭和29年

「岸壁の母」の岸壁は、船を横着けするためのコンクリートの桟橋である。この歌が、菊地章子の歌でヒットしたのは、昭和29年の暮れあたりからだった。

戦後の日本に復興景気をもたらした朝鮮戦争が、前年夏に休戦となり、世の中が平穩ムードに包まれていた。その平穩な空気を破るように『母は来ました 今日も来た』と歌う、引揚船が着く舞鶴港に、最愛の息子の帰国を待つ8年間も通い続けている母をテーマにしたニュース歌謡が話題になった。

話題の主は、東京大田区大森に住む端野いせ。太平洋戦争の末期の昭和19年、中国に出征したまま戻らない跡取息子の帰りを待つ、舞鶴港に復員船が入る度に、東京から通い続けている女性だった。彼女は桟橋に立って、出迎えの人並に揉まれながら、船から降りてくる復員兵の顔を一人一人確かめながら「新二、端野新二はおりませんかア！」と、声の限り息子の名を呼び掛けている。昭和29年の春だった。いせが舞鶴港で、又しても息子に再会出来ずに泣いている姿を、NHKラジオがインタビューして録音ニュースで流した。たまたま作詞家藤田まさとが、ラジオでそのニュースを耳にして深い同情と言いつつ憤(いきどお)りに突き動かされて岸壁の情景を一気に歌詞に綴ったのだった。藤田は東海林太郎の「旅笠道中」「麦と兵隊」、上原敏の「流転」、田端義夫の「大利根月夜」など、数々の大ヒットで知られた巨匠だった。その彼が復員を待つ母親への憐憫(れんびん)と、戦争への憤りを込めて一気に書き下ろした「岸壁の母」は、直ぐテイチク文芸部に届けられた。文芸部長は平川浪竜に電話して、「ニュース歌謡です。すぐ作曲して頂きたい」と依頼したと言う。平川は一夜で書き上げて、翌日自信作を持って試聴室でピアノの弾き語りをした。だが後ろに控える重役、文芸部長、作詞家藤田まさから何の反応もない。振り向いて見ると3人も滂沱(ぼうだ)の涙で頬を光らせていた。歌手菊地章子もレコーディングの時、涙なくして歌えなかったと言う。「岸壁の母」は、更に昭和47年、二葉百合子によって、浪曲歌謡としてリバイバルされて300万枚の大ヒットになった。歌のモデル端野いせは、ついに息子新二に再会出来ないまま、昭和56年7月1日病死した。享年81歳だった。



金砂の集いで民謡を披露する筆者(中央)

“乾杯!”からはじまる感動のひととき。

BANQUET / ACCOMMODATION / RESTAURANT
宴会・会議 / 宿 泊 / レストラン

アルカディア市ヶ谷
SH 私立 学会 館 AN

http://www.arcadia-jp.org

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760

JR線・地下鉄(有楽町・新宿・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分